広報 ふちゅう 4

目次

2 | 令和７年度施政方針・当初予算・主要事業
6 | 町からのお知らせ
16 | まちのわだい
17 | イクフレ
19 | くらしのガイド
25 | ふるさとふちゅう再発見
図書館からの今月読むならコレ！
休日診療当番医
26 | わが家のアイドル

広報ふちゅう３月号に誤りがありました。お詫びして訂正します。
◆10ページ　体育功労者表彰
●栗栖　孝律さん
（誤）府中町卓球協会
（正）府中町バレーボール協会

町の人口

令和７年３月１日現在

人口	52,088人
男	25,566人
女	26,522人
世帯数	23,858世帯

令和７年の火災と救急

令和７年３月１日現在

火災	１件
救急	511件

記号・略語の説明

時日時 所場所 内内容 対対象
定定員 持持ってくるもの
¥参加費・料金 講講師・指導
申申し込み方法など
締申込締め切り日 問問い合わせ先
（料金や申し込み方法の記載がないものは無料、申し込み不要。）
㊙「高齢者いきいき活動ポイント事業」対象
ＨＰはホームページを指します。

令和７年度

施政方針(抜粋)

３月11日に府中町議会で発表した、令和７年度町政運営の方針や重点施策の概要をお知らせします。
◆詳しくは町ＨＰをご覧ください。

府中町長
寺尾　光司

令和６年６月の町長就任後、「誰もが『暮らし心地が一番』と感じられるまちづくり」を基本的な考え方とし、公約に掲げた事業の実現に向け、町政運営を行ってまいりました。
令和７年度は、就任後初めての予算編成となりますが、第４次総合計画の最終年次であるとともに、令和８年度から始まる第５次総合計画へつないでいく重要年次となります。これまでの府中町行政を継承しつつ、暮らし心地を高める新たな取り組みも盛り込んで、着実に府中町をさらに発展できるよう目指してまいります。
令和７年は、被爆・終戦から80年という節目の年となります。世界の恒久平和と核兵器廃絶を発信していく取り組みを進めてまいります。

予算概要

町の令和７年度予算は、第４次総合計画の最終年次であり、総まとめとして、これまで実施してきた事業の点検評価を行いつつ、適時適切な事業を実施していきます（主な事業は４～５ページに掲載）。
予算の総額は、一般会計が223億8,600万円で、対前年度比19億8,900万円、率にして9.8％増の予算編成としました。当初予算の規模としては過去最大の予算額になりました。また、一般会計と４つの特別会計、下水道事業会計を合わせた予算総額は、344億5,900万円、率にして6.0％増の予算編成としました。

主な歳入

歳入においては、町税は法人住民税の減収が見込まれることから対前年度比１億6,800万円減の81億2,400万円としました。
普通交付税と臨時財政対策債の合計額は対前年度比９億7,800万円の減となっています。町債は、減収補てん債、緊急防災・減災事業費、脱炭素化推進事業債を増額などすることから対前年度比15億7,100万円増の31億6,200万円としています。国庫支出金は、対前年度比５億5,100万円増の43億700万円としました。
一般財源の不足を調整する財政調整積立基金は、令和６年度３月補正予算で８億4,000万円を積み立てる一方で、令和７年度予算では８億7,200万円の繰り入れとしています。

当初予算

一般会計と特別会計の予算と前年からの増減率

区　分		令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
一般会計		223億8,603万4千円	203億9,689万5千円	19億8,913万9千円	9.8%
特別会計	土地取得	1万1千円	1万1千円	-	-
	国民健康保険	43億1,244万4千円	44億5,540万5千円	△1億4,296万1千円	△3.2%
	介護保険	40億4,103万4千円	40億8,524万2千円	△4,420万8千円	△1.1%
	後期高齢者医療	10億504万9千円	9億6,390万円	4,114万9千円	4.3%
合計		**317億4,457万2千円**	**299億145万3千円**	**18億4,311万9千円**	**6.2%**

公営企業会計の予算と前年からの増減率

区　分			令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
下水道事業会計	収益的収入および支出	下水道事業収益	14億6,922万4千円	14億3,407万5千円	3,514万9千円	2.5%
		下水道事業費用	14億3,472万3千円	14億942万3千円	2,530万円	1.8%
	資本的収入および支出	資本的収入	7億2,691万9千円	6億2,738万8千円	9,953万1千円	15.9%
		資本的支出	12億7,926万8千円	11億8,662万4千円	9,264万4千円	7.8%

一般会計予算の構成

用語解説

【歳入】

町　税　町民税･固定資産税･都市計画税等、みなさんが納めるお金

国庫支出金　災害復旧や福祉事業など、国が使い道を特定して町に交付するお金

町　債　施設や道路の整備など多額の費用がかかる場合に、国や銀行などから借りるお金

【歳出】

民生費　福祉の向上や子育て支援などに使うお金

公債費　過去に借りたお金（町債）の返済に使うお金

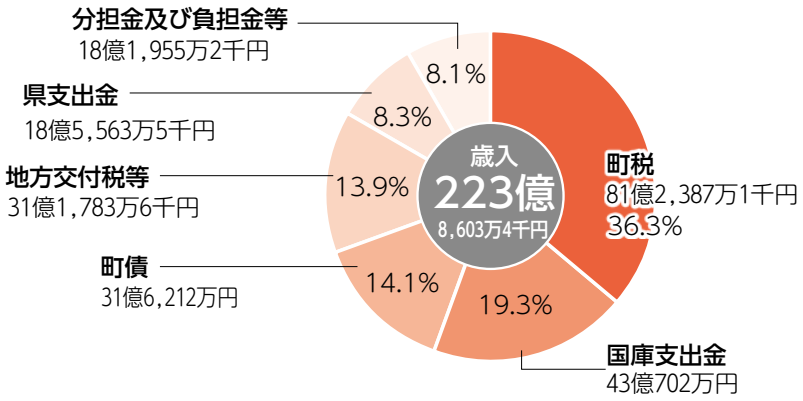
教育費　学校教育や公民館などの社会教育、スポーツ・文化振興などに使うお金

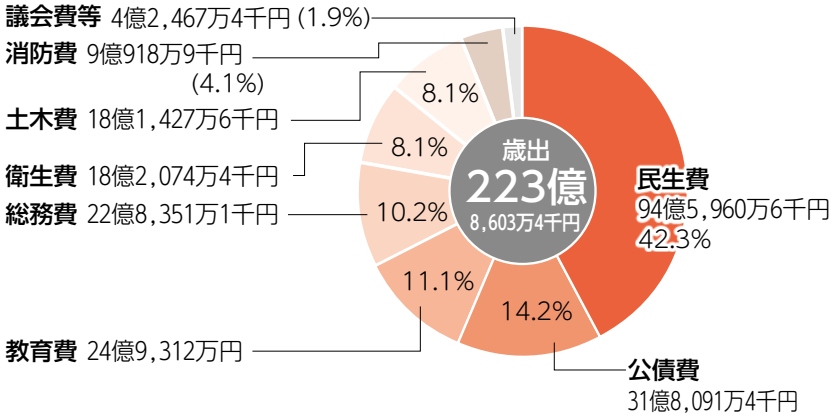
総務費　行政運営･税徴収や戸籍･住民票の事務などに使うお金

衛生費　健康･環境･ごみ処理などに使うお金

土木費　道路･橋･町営住宅などの整備、維持に使うお金

消防費　消防活動･災害対策などに使うお金





主要事業

「誰もが『暮らし心地が一番』と感じられるまちづくり」に向け、今年度実施する主な事業をお知らせします。

みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり

紙おむつ等定額利用サービス補助事業　182万円

保護者や保育士の負担を軽減するため、保育所などで使用する紙おむつ等の定額利用サービスの補助を令和７年10月から新たに実施します。

子ども医療費給付事業　２億748万円

中学生以下の子どもの医療費の助成に係る所得制限を令和７年４月から撤廃します。

保育施設等給食費補助事業　2,063万円
小・中学校給食食材調達事業　３億1,648万円

保育施設等給食費の一部補助や小・中学校給食費の保護者負担の軽減措置を行います。

重層的支援体制整備事業　2,831万円

障害・生活困窮・子ども・高齢といった分野に関わらず、包括的な支援を行います。

学び合い、志を育むまちづくり

学校運営改善推進事業　2,988万円
教育相談事業　1,297万円

スクールカウンセラーの配置時間数の拡充や青少年教育相談員の増員を行い、学校生活に不安を抱く児童生徒への早期対応や適切な指導を充実させます。

下岡田官衙遺跡保存・整備事業　878万円

令和６年度に購入した史跡指定地の発掘調査を行います。また、新たに学芸員（会計年度任用職員）を任用します。

学校施設改修等事業（小・中学校）　9,429万円
公共施設維持保全事業（小学校改修）　２億3,947万円

北小の校舎等の屋根・外壁、東小・緑ヶ丘中の消防設備の改修工事、緑ヶ丘中のエレベーター設備工事に係る設計業務委託を行います。

放課後児童クラブ運営事業　１億4,004万円

指導員を増員し、働きながら子育てできる環境を充実させます。

府中南公民館改築事業　5,210万円

南公民館の改築の基本設計を行います。

地域学校協働活動推進事業　114万円

地域学校協働活動推進員を重点配置し、地域と学校の連携・協働活動を強化します。

便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり

都市計画調査事業　4,766万円

都市公園の利用促進を図るため、民間活力を活用したPFI手法（民間の資金やノウハウを活用して公共施設の運営等を行う手法）について調査検討を進めます。

狭あい道路整備等促進事業　1,958万円

事業区域拡大のための調査検討を行います。

向洋駅周辺土地区画整理事業　２億4,140万円

物件移転補償や画地整備を進め、広島市東部地区連続立体交差事業の推進に合わせ、地区の整備を行います。

誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり

人権推進事業 297万円

犯罪被害者等支援条例を新たに制定し、犯罪被害者等に寄り添った支援を行います。

低炭素型社会づくり推進事業（電動車、街路灯、くすのきプラザ） 9,867万円

宅配ボックスを設置する家庭・集合住宅に補助を行います。また、公用車の電動車導入や、街路灯・くすのきプラザの照明をLEDにします。

町内会活動応援事業 180万円

町内会未加入者への参加を促し、活動の理解や地域住民のつながりをより深めるため、町内会加入促進等補助金制度を新たに創設します。

消防自動車等購入事業 2億8,259万円

30m級のはしご車を更新します。

農業用水路等改良事業 5,519万円

農業用ため池の機能も兼ねる水分峡大えん堤の堆積土砂の撤去を行います。

下水道事業会計 管路建設改良費 1億9,529万円
（同）ポンプ場建設改良費 3億2,279万円

茂陰１号線・府中ポンプ場１号主ポンプの改築更新や公共下水道築造工事を実施します。また、下水道使用料改定に向け、システム改修を行います。

持続可能なまちづくり

総合計画推進事業 3,361万円

令和８年度から始まる第５次総合計画の策定に取り組みます。

証明書等コンビニ交付事業 565万円

コンビニでの住民票発行手数料を150円減額するなど、住民の利便性向上を図ります。

魅力発信事業 2,169万円

第５次総合計画の策定に合わせ、PRアニメ第２弾を制作します。また、広島県移住・マッチング支援事業を活用した補助制度を創設します。

総合行政情報システム構築事業 3億3,652万円

戸籍・健康管理システム等の標準化、生成AIの導入、LINEを活用したスマホ申請、電子申請システムを活用した「書かない窓口」の試行を実施します。

減債基金積立金事業 88万円

町債の返済に必要な財源を確保し、財政の健全な運営に資するため、減債基金を設置します。

被爆80周年事業 132万円

慰霊式典、追悼祈念コンサート、標語コンクール、小・中学校での講演会などを行います。